

英学会話書の研究

目 次

序

1. 本書の目的と構成	1
2. 英学資料における英学会話書	2
3. 日本語史研究からみた特徴	2

第 1 部 英学会話書概観

第 1 章 英学会話書概観

1. 対象とする時期	11
2. 資料収集	12
3. 資料一覧	17

第 2 章 英学会話書一覧の分析 I

1. 成立時期から	27
2. 書名から	30
3. 日本語学習書か外国語学習書か	32

第 3 章 英学会話書一覧の分析 II

1. 外国語会話書の影響	35
--------------------	----

2. 外国語会話書の内容	36
3. 調査結果	51
4. 外国語会話書からの編集過程	59
第4章 研究上の課題	77
1. 分類	77
2. 書名	77
3. 著訳編者	79

第2部 英学会話書の資料と研究

第1章 第1節 J.リギンズ著『英和日用句集』の成立過程	
——『南山俗語考』との関連を中心に——	
1. はじめに	85
2. 『英和日用句集』について	85
3. 『英和日用句集』の序文の記述について	86
4. 『南山俗語考』について	88
5. 二つの資料の外的関連性	89
6. 二つの資料の内的関連性	89
7. おわりに	98
第2節 英学会話書『英和日用句集』の人称代名詞	
——『南山俗語考』・『英和日用句集(初版)』	
・『同(三版)』の比較から——	
1. はじめに	103
2. 人称代名詞の研究方法	103
3. 先行研究	104
4. 結果一覧	107
5. おわりに	113

第3節 J.リギンズ著『英和日用句集』から『英和通弁手引草』へ	
1. はじめに	115
2. 『英和通弁手引草』について	116
3. 一致の状況	117
4. 訳文の性質	120
5. おわりに	134

第2章 第1節 J.F.ラウダー著『日英会話書』の日本語	
——成立・構成・表記について——	
1. はじめに	137
2. 序文から	138
3. 成立について	141
4. 構成について	142
5. 日本語の特徴	146

第2節 J.F.ラウダー著『日英会話書』の日本語	
——人称代名詞から——	
1. はじめに	155
2. 『日英会話書』の人称代名詞	155
3. 人称代名詞からわかること	162
4. おわりに	166

第3節 J.F.ラウダー著『日英会話書』語彙集について	
1. はじめに	169
2. 語彙集の記述方針	169
3. 会話部と語彙集の関係	171
4. 訳語の性質	175
5. 文法や表現に関する点から	177

6. おわりに	179
第3章 第1節 E. M. サトウ著『会話篇』にみられる音節「エ」の表記原理 ——表記と音韻・音価の関わりをめぐって——	
1. はじめに	181
2. サトウの表記意識	182
3. 調査資料と調査方法	184
4. 調査結果	185
5. 調査結果の解釈	188
6. おわりに	193
第2節 E. M. サトウの著作にみられる音節「エ」の表記原理の変化 ——複数の著作からの考察——	
1. はじめに	199
2. 調査方法	199
3. 比較資料	201
4. 各資料の検討	201
5. おわりに	210
第3節 表記と音声の乖離 ——英学資料の音節「エ」の音価を考える——	
1. はじめに	215
2. 英学資料の「エ」の表記	215
3. 表記実態の概観	216
4. 日本語の表記に対する当時の議論	218
5. 明治期以降の音声資料から	222
6. おわりに	230
第4節 E. M. サトウ著『会話篇』の書誌に関する追考	
1. はじめに	237

2. SOAS 図書館所蔵本について	238
3. SOAS 本がサトウの旧蔵書である根拠	239
4. SOAS 本の書き込みと刊行の順序の推定	240
5. SOAS 本の書き込みの方法からわかること	241
6. おわりに	242

第5節 ケンブリッジ大学図書館蔵 E. M. サトウ自筆資料について ——『日本語会話練習帖』と 『会話篇』との比較および翻字——	
1. はじめに	247
2. 自筆資料の概略	247
3. 『日本語会話練習帖』について	248
4. 比較資料『会話篇』について	249
5. 『会話篇』に関する例文について	250
6. 「字音形容詞」に関する例文について	255
7. おわりに	257
付：『日本語会話練習帖』翻字	286

結

1. 本書で論じたこと	287
2. 英学会話書研究の今後	291
後記	293
参考文献	297
使用テキスト	307
索引	311

